

彼方 【かなた】

校長通信
H30.12.3
Vol.23

【心ひとつに！「笑顔を作る」】

「一つ質問してもいいですか？あなたの学級は、なぜあんなに一生懸命歌声練習するのですか？」

「はい！歌声で学級が変わってきているのが楽しくて、体育祭の時もみんなでまとまれましたし、学級の中に笑顔が増えているからだと思います。」三年生との校長面接でのやりとりです。聞いていてジーンときました。

「私たちの活動にはねらいがあります。そのねらいを達成するために、学級や委員会で様々な目標が掲げられます。体育祭では『見に来ていただいた方々に感謝し、元氣と勇気を届け、笑顔で帰っていたらこう！』というのを目指して頑張りました。この合唱コンクールも『笑顔を増やす』ことがねらいだなどと思えました。声の出ない仲間を助けながら三十数



人の声を重ね合わせ、少しずつ合唱ができあがり、それとともに笑顔が創られる、聞いている先生の顔もほころんでくる、本番当日、どの学級が最優秀なのか気になるところで、みんなの思いがひとつになって会場が沢山の感動に包まれ、笑顔が



あふれることを期待しています。」開会式での挨拶でした。

少し時間が経ちましたが、本当に心に残る合唱コンクールでした。すべての学級が「白山ブランド」にふさわしい「美しく響く歌声」を披露してくれました。

一年生は、とても高いレベルで歌っていました。来年の合唱が本当に楽しみです。二年生は、一年違うとこれほど音に厚みができるのかと思うほど、どの学級が賞を取ってもおかしくないくらい素晴らしい合唱で、審査員泣かせでした。そして三年生、流石です。中学校最後の合唱コンクールだということを聴いている人達みんなに感じさせてくれました。きれいなハーモニーに豊かな表情、仲間の声に重ねようとする一体感が本当に素敵でした。すべての学級の発表レベルの高さに驚かされました。本当に感激しました。

コンクールには賞がついてきます。でも、大切なのはプロセスです。ここに至るまでの学級の営みが本当に大切なのです。音が合わなかったり、ハーモニーが作れなかったり、うまく協力ができなかったり、いろいろあったと思います。それでも学級でその課題をひとつひとつ乗り越えて、ここ



まで来たことに大きな価値があるのです。「みがき合、支え合い、心豊かにたくましく生きる」という学校教育目標がまさに具現化された一日だったと思います。学級の歌声をリードしてきた歌声委員や歌声部会、パートリーダー、指揮者、伴奏者、そして曲紹介のナレーター、ポスター作成者に賞賛と大きな拍手を送りたいと思います。

△コンクールの部の結果▽

三年最優秀賞…三年二組「はじまり」

優秀賞…三年五組「花を探す少女」

優秀賞…三年七組「蒼鷺」

二年最優秀賞…二年二組「虹を渡って」

優秀賞…二年六組「虹」

優秀賞…二年七組「君とみた海」

一年最優秀賞…一年六組「あさがお」

優秀賞…一年二組「今も僕は」

優秀賞…一年七組「永遠のキャンバス」

△ポスターの部の結果▽

三年最優秀賞…三年二組

優秀賞…三年三組

二年最優秀賞…二年七組

優勝賞…二年六組

一年最優秀賞…一年一組

優秀賞…一年六組

最後に「白山ブランド」となる

素晴らしい合唱コンクールを企画運営した生徒会本部と歌声委員会の皆さんを誇りに思います。本当にありがとう！

